

・「ひとときの和」

小学生への福祉教育の一つとして、毎年、市内小学校 2 校において行われ、その日は全校児童が参加して「身体障がい者」「視覚障がい者」「聴覚障がい者」各団体の「お話」や「寸劇」「ミニスクール」を聴講して、障がい者について学びます。

当会も、数十人の児童に、車いす体験を指導しています。



- ・多摩市総合防災訓練にて、車いす体験 ボランティアセンターの災害時要援護者コーナーで実施。災害時の要援護者支援対策は、今後の課題となる。



・社協車いす整備

車いす体験に用いる車いすは、社協が所有。H19 より車いすの整備を社協の要請により、引き受け、整備マニュアルを作成し、H21 まで実施。現在は、個人ボランティアが、行なっている。

○「昔あそび」など世代間の交流

小学生が中心ですが、地域のイベント（「多摩センターこどもまつり」「永山フェスティバル」「福祉まつり」）等に参加。「昔あそび」を伝承しています。

- ・5月の「こどもまつり」では、竹馬・竹ぼっくり・こま回しなどで、親子が楽しむ姿は、誠にほほえましい。

また、「竹とんぼ作り」教室も、毎回満席。自分で作った「竹とんぼ」を飛ばして喜ぶ様子も嬉しい。「竹返し」も、懐かしくもあり、珍しい遊びとして好評です。

その他、私たちの手作りの「竹細工商品」（竹とんぼキット、竹笛、竹ペラ）等の販売も好調。

毎年、連休3日間大盛況で、当会最大のイベントとして、大切に伝承してゆきます。

